



実は：元芸人です

僕は今『お金の専門家』としてセミナーをしたり、将来の安心を得る『ライフプラン』を考えたりそんなお仕事をしています。でも経済の勉強をしていたわけでもなく、元々銀行に勤めていたわけでもありません。実は私元々『芸人』として劇場にずっと出ていたんです。ちょっと前から騒がれている○本興業の芸人養成学校に18歳の時に入り、26歳の時まで漫才をずっとしていました。

売れる芸人さんはギャラが多いですが、最初から売れる方はなかなかいません。私もご多分に漏れず芸人だけではなかなか生活が出来ずアルバイトを何百個もやりましたね。中央市場・スナック・配達・中華料理屋・スパゲッティ屋・お酒の配達・土方、ありとあらゆるアルバイトをしましたね。でも舞台で漫才をするためならと思えば、自然と頑張ることが出来ましたね。少ない金額ながらも自分の芸でお金をもたらえることに幸せを感じていました。

芸人を目指したある一言

そんなころ私が出演していた劇場が廃止されることになったんです。26歳の時でした。その頃の芸人としての私は正直中途半端なポジションでした。め

ちゃくちゃ売っていたら辞める必要もない、全然売れていなかったら辞めた方がいい。でもそのどちらでもなかった。なんやかんや色々な所で毎日営業があつたんです。だからかなり迷ったのですが、劇場の廃止と共に芸人としての人生は諦めることにしました。

芸人を志したのは母の一言でした。私が芸人になりたいのを母は知っていました。でも父が公務員と

いう堅い家庭で母からも『大学に行きなさい』と言われていました。その母が私が18歳の時に亡くなったのですが、亡くなる最後の日に『あんた好きなことをしなさい』と言ってくれたのが芸人になった決め手なんです。

芸人としての人生は諦めましたが、あの時にチャレンジしていなかったら一生後悔をしていたと思います。好きな道に進むことを後押ししてくれた母には本当に感謝をしています。

第二の人生のスタート

次の人生を歩むと決めたので、何か仕事をしないといけない。そんな時たまたま求人雑誌に『3ヶ月で100万円も可能！』みたいなのが載っていたので、仕事の内容もろくに見ないで応募をしました。面接に行ってみたらお水のレンタルサーバーを飛び込み営業して会社や家庭に置いてもらう訪問販売の会社でした。

基本給はあるがほぼ成果給、とりあえずやってみようかと思ってやってみたらビックリするくらい売れないのです(笑)。毎日100件ほど飛び込み営業するのですが、売上は0でした。そして売上0の状態はなんと半年続きましたね…。

ある日突然売れ始める

半年しても全く売れない。でもとあることを変えた瞬間に突然売れるようになりました！それは何かというと『ツッコミ』に変えたことなんです(笑)。

芸人をしてる時に僕は『ボケ』をしていたのでボケの方が得意だったのですが、営業方針をツッコミに変えてみました。どういうことかという、ツッコミというのは『話を聞きながら相槌に徹する役』だから話が面白くなるのも面白くならないのもツッコミの腕次第なんです。

例えばボケが『昨日卵焼き食べてな〜』と言ったとします。ツッコミが『うんうん、ほんで？』と言うのと『あ〜卵焼きな〜家によって味ががうよなく甘いのもあるし、辛いのもあるし。ほんでほんで？』って聞くのと全然あとの展開が違うと思いませんか？話の聞きだし方によって同じ卵焼きの話でも盛り上がり方が全然違うんです。

ツッコむと何故売れるのか？

何故盛り上がるのか？という『映像化』させているからなんです。

お客さんのテンションを上げるために、ワクワクさせながら情景を映像化させノリノリにさせるのがツッコミの仕事なんです。ボケをしている時は、その商品の良さみたいなのを伝えてたのを、ツッコミに変わった瞬間に相手の話を徹底的に引き出すうと思っただけです、相手視線が変わったんです。

お客様の話でも、興味ないと『言えば終わっちゃうんだけど』いや〜すいません。僕それ興味ないんですけどね。何で元々やろうと思っただけか？って聞いたら『そうやねん！よう聞いてくれた！オレもな、お前みたいに興味なかってんけどな…』みたいな感じなんです。そういうところから人間

関係を作って、その人に興味を持っていくような営業に切り替えたんですよ。そしたら自然と売れるようになりましたね。

売れた後に待っていたもの

どれくらい売れたか？というと、半年間は毎日100件飛び込みしたら0個だったのが、100件飛び込みしたら20〜25個売れるようになりましただね。信頼関係が出来ていくとそこからは紹介が増えていきました。「〇〇さんの家行ってきて！薦めといたから」と紹介され、行ってみると『あ〜どうぞどうぞ〜』会いたかったのよ！って。今までが嘘のような展開になりました(笑)。

結局その会社では日本一のトップセールスマンになって、収入もどんどん増えていきました。でもある日気づくとお金が全然ないんです。今まで稼いだことのないようなお金を稼いでしまい、色々なものに浪費したり気前よく後輩にご馳走をしている、天狗になった自分がそこにはいたんです。

